

論文審査の要旨
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 (学 術)	氏名 Author	CHAOPREECHA JAKRAPHAN
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論 文 題 目 Title of Dissertation	Revitalization of Tradition through Social Media: A Case of the Vegetarian Festival in Phuket, Thailand		
論文審査担当者 Dissertation Committee Member	主 査 Committee Chair 広島大学大学院国際協力研究科 准教授 関 恒樹 印 Seal 審査委員 Committee 広島大学大学院国際協力研究科 教授 吉田 修 審査委員 Committee 広島大学大学院国際協力研究科 准教授 牧 貴愛 審査委員 Committee 広島大学大学院国際協力研究科 准教授 山根 達郎 審査委員 Committee 広島大学大学院総合科学研究科 教授 高谷 紀夫		
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review	<p>本論文は、タイ南部プーケットにおける、華人系住民を中心とした伝統的宗教祭儀であるベジタリアン・フェスティバルを事例とし、新たなソーシャルメディアが可能にしたコミュニケーションが、伝統の再編あるいは「再活性化 (revitalization)」を生み出している状況を論じている。計 11 か月に及ぶプーケットでのフィールドワークから得られた民族誌的データに基づき、文化人類学的研究である。第 1 章では、本論の目的、意義、問題の所在が述べられた後に、基本的分析概念である「公共圏／対抗公共圏」が論じられる。第 2 章では、研究の背景としてベジタリアン・フェスティバルの起源、祭儀実施の中心となる主要寺院、ツーリズムの進展が述べられる。第 3 章では、祭儀の主要なアクターである寺院に属する宗教的専門家、シャーマン、信者、そして寺院役員らの役割、アクター間での政治力学が論じられる。第 4 章では、実際の祭儀の過程、そこでの各アクターの相互行為が詳述される。第 5 章以降が、本論の核となる部分である。第 5 章では、祭儀を行う主要な寺院の権威が顕在化する一方、それら寺院の教義や宗教的規制に同意できない諸アクター（具体的には、海外で道教の知識を学んだ道士、女性やトランスジェンダーのシャーマンなど）が、主要な寺院によって構成される公共圏から排除される状況が明らかにされる。第 6 章は、タイにおける上座部仏教が、主要寺院によって排除される諸アクターたちにとり、抑圧的な公共圏となっている点が論じられる。第 7 章は、それら公共圏から排除された諸アクターたちが SNS を用いつつ、活発なコミュニケーションとネットワークを形成し、それによって家庭祭祀のような親密圏における行為が、対抗的公共圏へと転換される状況を描く。第 8 章では、このようなプーケットのベジタリアン・フェスティバルに見られる動態を、今日のタイ社会に見られる「宗教の商品化」の現象との関連で論じる。第 9 章では結論として、ベジタリアン・フェスティバルに見られる公共圏と対抗公共圏の拮抗を通して、いかに伝統的宗教祭儀の「再活性化」が生じているのかが論じられている。</p> <p>以上のような内容を持つ本論文は、伝統の創造・再編をめぐる文化人類学の諸議論、タイの宗教論、メディア論、観光論など、様々な文脈において新たな知見を提供する有意義な研究であることが、審査員一同によって評価され、本論文の著者は博士 (学術) の学位を授与される十分な資格があると認められた。</p>		